

波間きらめく瀬戸の海 清く正しく睦み合い（大崎小校歌の冒頭） 瀬戸内海の真ん中に浮かぶ大崎上島。島のほぼ中央にそびえる「神峰山」（通称『かんのみね』）の 山頂展望台からは、瀬戸内海と大小 115 の瀬戸の島々、しまなみ海道・日本三大急流の来島海峡 が一望できます。また、この素晴らしい自然環境の中で、地域の皆様の温かい支援を受けながら、116 名の子供たちは、優しく元気に成長しています。

平成 15 年 4 月、島内の大崎町・東野町・木江町の 3 町が合併し「大崎上島町」となりました。そして、平成 20 年 4 月、旧大崎町である中野地域と西野地域を校区とする大崎上島町立大崎小学校がスタートして、17 年目を迎えました。これもひとえに多くの皆様のご理解とご協力のおかげです。本町のシンボルである『かんのみね』を仰ぎつつ、大崎小学校の校門に入ると、子供たちの明るく元気な声が響いてきます。気持ちの良い挨拶の声、響く歌声、休憩時間に外で元気よく遊ぶ声など、充実した学校生活の一端をあらわしています。

令和 7 年度 学校経営方針を「安心があふれ、自信が育つ学校づくり」 学校教育目標を「主体的に学び続け、共に伸びる子どもの育成」とし、学校、家庭（保護者）、地域の皆様と連携し協働的に、子供たちを育てていきたいと思ひます。

教職員が一体となったチーム大崎小で子供たち一人一人に寄り添った教育活動を進め、子供たちに確かな力を付けてまいります。「大崎上島の子供は大崎上島で育てる！」という教育委員会のビジョン実現にむけ、取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和 7 年 4 月 1 日
大崎上島町立大崎小学校
校 長 大政 勇司